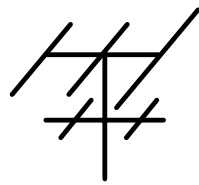


子育てチャンネル



Mちゃんとの出会いから

東川町民生・児童委員
久保ミチ子
MICHIKO KUBO

「子育て」というと30数年前の事です。その時々子どもと一緒に親(私)も育ってきました。近所の人たちからアドバイスや励ましの言葉ももらいながらの子育てでした。悩んだ時などはあまり先のことを考えず、今一番必要な方法を決断し、行動していました。今は子育ての第一線から退いて余裕をもって見ていられる年齢のせい、「待ちの姿勢」で子どもたちを見ていられます。

民生・児童委員になってからMちゃんという子どもとの出会いがありました。Mちゃんには忘れかけてた自然や子どもすばらしさを再認識させられました。

2人で町を歩いていると、Mちゃんは朝日のまぶしいこと、冬の厳しい寒さ、風の強い日、暖かい日と日々変化する季節を肌で感じ、私に伝えてくれます。畑の中にいつまでもある3個のかぼちゃや、屋根根から滑り落ちる雪を不思議がりいつまでも眺めています。

やがて、落ち葉をかき集めている人と出会い、車椅子の人へのやさしい声掛け、近所の人たちへの挨拶などを通してMちゃんと地域の人たちとの関わりも生まれてきました。

(みなさんも忙しいでしょうが、少し時間に余裕ができたなら「近所を散歩しながら出会いの輪を広げてみてはいかがでしょうか。)

Mちゃんはいつも「どうしたの」「何しているの」といってるんな人に聞いかけます。答えてくれなかった人でも会うたびに挨拶をしています。

ある時、いつも答えてくれなかった人に「何しているの。」と聞くと親しくいっぱい話をしてくれました。Mちゃんもうれしくなるととても楽しく話を続けていました。

またある朝は、「おはようございます。」と大きな声であいさつが出ました。Mちゃんに、すかさず「上手にあいさつできたね。」と、あるお母さんからおほめの声をいただきました。Mちゃんはとてもうれしくなり、いろいろな人に挨拶をしていました。(タイミングよくほめてくれたおからあさんありがとう。親以外の人からちよつとした言葉をかけてもらうと出来ないことも出来るものです。)

子育て事情も時代とともに変わってきました。今は共働きをしている人も多く「ゆったり」とはしにくくテンポの速いサイクルになりがちで生活リズムも遅寝、遅起になりがちですが、「早寝、早起き、朝ごはん」にこころがけ、基本的な生活習慣をしっかりと身につける事で将来健康で過ごす土台ができるのです。子どもの時に身につけた習慣は簡単に変えるにくいものらしいです。きちっと3度の食事を摂ることは、毎日の生活で必要条件です。

子育ては子どもと一緒に親も育っていくもの。初めから「プロ」になる人はいません。毎日の生活の中で少しずつ経験したことを自分のものにしていけばいいのです。下手でもほめてあげれば、自信がつき上手にできてきます。叱ることより、ほめるほうが難しいのです。簡単なお手



伝いをお願いして、できたら「ありがとう。」と、いって感謝の気持ちを伝えてあげてください。自然に身につけてほしいことです。(でも、あせらず、ゆとりと。時間がかかってもいいのです。)

家庭の環境やお子さん一人ひとりの違いもあり、育てずらいなど、いろいろ迷ったり困ったり心配になったりするところがあるでしょう。一人で悩まず、人生の先輩や友達に話を聞いてもらいましょう。答えを求めただけでも気持ち楽になります。明日からがんばろうという気持ちになれます。

なれます。

もし困ったときには地域に「民生・児童委員」という地域のお世話を焼きたい人もいます。この人たちにはどんな事でもいいのでお話ししてください。良い話相手として相談に乗ってくれますし、いろいろな悩み解決のためのいろいろな情報も持っています。もちろん知れた情報は漏らしません。地域で安心して生活していくために上手に活用してもらえればこんなに嬉しいことはありません。